



提供：日本経済新聞社

働く

## 野村證券

## 内発型の地域活性化へのチャレンジ

「地産地消型の事業承継」と「後継者（アトツギ）」による  
イノベーション支援

日本は世界有数のファミリービジネス大国であり、「のれんを守り次世代に襷を繋ぐ」というファミリー企業の経営者の思いが、日本経済の基底の1つを成すといわれている。

現在、後継者難等を背景にファミリー企業が減少しており、事業承継が社会課題となっている。雇用や技術が失われるだけでなく、地域の特徴や誇り等も薄れることが危惧される。

### 事業承継を通じたイノベーション・エコシステムの構築

野村證券は、地産地消型の事業承継と「後継者（アトツギ）」によるイノベーション支援をテーマとして、この課題に挑戦している。2019年度、2020年度と中小企業庁「プッシュ型事業承継高度化事業」全国事務局として、47の地域事務局による事業承継診断・計画策定、経営者保証解除支援等の活動を支えてきた。また、事業承継・資産承継専門のシンクタンクである野村資産承継研究所は、700名近くの地域の税理士を会員とする研究会を主宰し、知見の提供と事業承継の協働に取り組んでいる。

こうした経験を通じ、異業種や大企業、海外等で経験を積んだ後継者が、地域のファミリー企業に新たな発想やテクノロジーの活用

をもたらし、一段の飛躍を実現した事例を数多く目の当たりにしている。事業承継を機に、後継者がイノベーションを起こし、ロールモデルの「カッコいいアトツギ」として注目を浴びる。そうした経営者に憧れ、駆け出しの経営者が新規事業開発に挑戦する。その挑戦をロールモデルが支援する。こうした好循環が各地で生まれつつある。

### 様々なピッチイベントへの協賛

このような事業承継を通じたイノベーション・エコシステム構築を促すため、後継者と起業家が同じ土俵で競い合うトーナメント形式のピッチイベント「スタ★アトピッチ Japan」（主催：日本経済新聞社）に特別協賛している。北海道から九州・沖縄に至るまで、全国9つの地域で地方大会を開催し、それを勝ち抜いた企業が決勝大会で事業・サービスの独自性や社会性を競い合うことで、「事業承継がイノベーションのチャンスである」との認識の浸透や、ロールモデルの継続的な輩出に貢献している。同様の主旨で、「Forbes JAPAN [SMALL GIANTS AWARD]」日本青年会議所「国際ハッカソン」にも協賛しており、ピッチイベントの開催とロールモデルの輩出による好循環が全国津々浦々に広がるよう取り組んでいる。

野村證券は、「真に豊かな社会の創造に貢献する」という社会的使命を果たすために、今後も地域経済の課題に挑戦していく。